

～脱炭素社会に向けた取り組みを推進～ **金沢フォーラスの電気は実質再生エネルギー100%へ** 再生可能エネルギー指定の非化石証書を組み合わせ実現

株式会社OPA（以下、「当社」）が運営する金沢フォーラスは、2024年4月1日から再生可能エネルギー指定の非化石証書発行がされる電力契約へ切替え（以下、「本取組」）を行います。

当社では、2018年に策定したイオン「脱炭素ビジョン」に基づき、店舗から排出する温室効果ガス（CO₂）等を総量で0にする取り組みを推進しており、地球温暖化防止と脱炭素社会の実現に向けて、これまでも消費電力の削減、CO₂排出量削減に取り組んでまいりました。

2023年4月1日より仙台フォーラス、2023年9月1日より高崎オーパ、横浜ビブレが本取組を既に実施。再生可能エネルギー指定の非化石証書を組み合わせ、実質再生エネルギー100%の電力で運営する店舗の拡大に努めています。

今後も当社は、地域に身近な環境への配慮を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを積極的に行ってまいります。

記

■当社の本取組み

- ・手 法：再生可能エネルギー指定の非化石証書発行がされる電力契約へ切替え
- ・実施店舗：①仙台フォーラス 2023年4月1日より
 ②高崎オーパ 2023年9月1日より
 ③横浜ビブレ 2023年9月1日より
 ④金沢フォーラス 2024年4月1日より※

※金沢フォーラスの2023年度電気使用量は8,635,090kWh
 2024年度も前年度水準の電力使用を想定



※画像は金沢フォーラス

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社では、2030年までに取り組むべき地球規模の17の目標“SDGs”に向けて、全社を挙げて取り組んでいます。今回の取り組みが該当する開発目標は、右図の通りです。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社OPA 総務部 担当：浅井・丸山 TEL: 043-213-3211